（研究実施に関する掲示ポスター）

『強度近視および近視性脈絡膜新生血管発生に関連する遺伝子の解析（承認番号 077）』
にご参加いただいた患者さん、
2024 年 3 月 31 日までに本学のバイオバンク事業にご参加いただいた病的近視の患者さんへ
研究協力のお願い

【研究課題名】

病的近視の遺伝子解析（承認番号　M2023-009）

【研究目的】

近視の中には、様々な眼底合併症を生じ、視覚障害をきたす「病的近視」という病態があります。後部ぶどう腫は、後部眼底の突出であり、病的近視の特徴的な変化です。後部ぶどう腫を伴う高度近視眼では、後部ぶどう腫のない高度近視眼と比較して、視力が著しく悪化し、近視性黄斑合併症が有意に多く見られています。病的近視における後部ぶどう腫の関連遺伝子を見つけることは、予防と治療にとって非常に重要です。

【研究内容】

『強度近視および近視性脈絡膜新生血管発生に関連する遺伝子の解析（承認番号 077）』の研究に参加していただいた患者さん、または、2024 年 3 月 31 日までに強度近視外来を受診し、バイオバンクに登録いただいた病的近視の患者さんのうち、後部ぶどう腫のある患者さんの DNA サンプルを用いて、全ての遺伝子を含むゲノム全体を一度に解析する全エクソーム解析または全ゲノム解析を行い、病的近視における後部ぶどう腫に関与する遺伝子を調べます。この際に、承認番号 077 の研究で得た SNP 解析の結果も使用いたします。

遺伝子解析は、株式会社池田理化、日本ジェネティクス株式会社、Macrogen に全エクソーム解析と全ゲノム解析を依頼いたします。この全エクソーム解析と全ゲノム解析の結果と診療情報を用いて、疾患バイオリソースセンターで、病的近視における後部ぶどう腫に関与する遺伝子を調べます。ゲノム解析の一部には、東京科学大学 M&D データ科学センター包括契約に基づく東京大学医科学研究所に設置されているスーパーコンピューターSHIROKANE および、東京科学大学 M&D データ科学センターのストレージシステム SHIRAUME を使用いたします。診療情報から、家族歴、治療内容、治療経過、画像検査データ等を収集して本研究に用います。遺伝子解析で得られる結果については、現在の遺伝子解析技術の不確実性や、膨大な遺伝子解析検査結果の説明・解釈の難しさを考慮し、基本的に個別の結果説明はいたしません。しかし例外としまして、患者さんご本人やご家族にとって重要であると思われる結果が判明し、診断・治療に有益と考えられる場合においては、倫理審査委員会で審議・承認後、結果について説明を希望されるかどうか、該当する患者さんご本人にご意向をおうかがいし対応いたします。また、個人を

特定出来るようなお名前・住所といった情報は一切公表いたしません。得られた情報の二次利用の可能性はございません。

以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本研究にて試料・情報を用いることにご了承いただけない場合、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出下さい。なお研究対象者となる方に新たに費用が生じたり、診療上の不利益が起こることは決してありません。

【研究期間】

研究実施許可日から 2027 年 3 月 31 日まで

【本研究で得た遺伝情報の保管場所・保管責任者】

検体関連の保管及び眼科臨床データ、全エクソーム解析と全ゲノム解析の結果はパスワードロックのかかった眼科研究室および疾患バイオリソースセンターの PC にて保管いたします。保管責任者は研究責任者である大野京子になります。

【利益相反】

本研究は大学の運営費（所管コード：310104804）、厚生労働科学研究費補助金（課題番号 23FC1043）を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

【研究についての内容、問い合わせ等の連絡先】

〒113-8519　東京都文京区湯島 1-5-45　東京科学大学病院　眼科　研究責任者　大野京子

電話 03-5803-5302　（対応可能時間帯　平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）